令和４年度　島根県立隠岐養護学校　学校評価集計結果

目指す学校像：やってみようマインドで、隠岐を彩る学校

地域の想い：共生社会実現の後押し

⑴アドバイザーの役割
⑵広く届く広報活動
⑶地域とのつながり

左の３つの「地域の想い」の、どれか一つに対してどう応えるのか、やってみよう！！と思う重点目標をたてた。それを実現するための評価を行う。

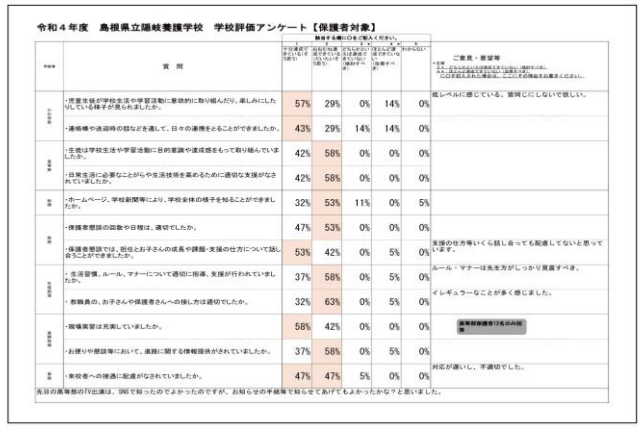
教職員自己評価【評価基準】
1　十分達成できている（そう思う）
2　おおむね達成できている（だいたいそう思う）
3　どちらかといえば達成できていない（検討すべきである）
4　ほとんど達成できていない（改善すべきである）

４段階評価基準
A:十分に達成できている
B:おおおむね達成できている
C:どちらかといえば達成できていない
D:ほとんど達成できていない

令和４年度　　隠岐養護学校　児童生徒アンケート　集計結果　　2022.12.20

	質問項目	1 そう思う	2 どちらかと言えばそう思う	3 あまり思わない	4 思わない	5 わからない
1	先生は、授業中わかりやすく教えてくれていますか。	71%	7%	14%	0%	7%
2	できた、わかった、もっとやりたいと思った授業はありましたか。	36%	43%	21%	0%	0%
3	授業や学校行事は充実していましたか。	36%	50%	14%	0%	0%
4	授業や学校行事にすすんで参加したと思いますか。	43%	43%	14%	0%	0%
5	学校（教室）は安心して過ごせますか。	50%	43%	7%	0%	0%
6	先生は、学校のきまりや社会のルールをきちんと指導してくれていますか。	64%	21%	7%	0%	7%
7	あなたは、学校のきまりなどをしっかり守ったと思いますか。	43%	36%	14%	7%	0%
8	あなたは、すすんで挨拶をしたり、言葉づかいに気をつけたりすることができましたか。	29%	43%	21%	7%	0%
9	あなたは、学校のクラスの友達や先輩、後輩にいじわるをされたことがありますか。	7%			64%	29%
10	あなたは、学校の友達や先輩、後輩にいじわるをしたことはありますか。	0%			71%	29%
11	あなたは、学校のクラスの友達や先輩、後輩がいじわるされているのを見たことがありますか。	7%			64%	29%
12	先生は、進路や友人関係などで、困った時、悩んだ時に話をしっかり聞いてくれますか。	57%	29%	0%	0%	14%
13	先生は、いつも気にかけて声をかけてくれていると思いますか。	57%	43%	0%	0%	0%
14	学校の勉強や生活は、自分の将来に役立つものと思いますか。	57%	36%	0%	0%	7%
15	学校の勉強や生活をとおして、昨年よりできることが増えたと思いますか	43%	36%	7%	7%	7%
16	教室、作業室、体育館、校庭、トイレ、プレイルームなどは使いやすいですか。	36%	36%	29%	0%	0%

自由記述
・男性の生徒のきょりが近いと思います（授業前、2年教室の前で後輩が友達をつかまえて教室に入らせない。追いかけたりするので教室の前でするのでめいわくしています。）
・体育館やプレイルーム付近wi-fiのでんぱが悪い。
・プレイルームのネットかんきょうがわるい。体育館がすべりやすい。


令和４年度　島根県立隠岐養護学校　学校評価アンケート【保護者対象】

質問	1	2	3	4	わからない	ご意見・要望等
・児童生徒が学校生活や学習活動に意欲的に取り組んだり、楽しみにしたりしている様子が見られましたか。	57%	29%	0%	14%	0%	低レベルに感じている。皆同じにしないで欲しい。
・連絡帳や送迎時の話などを通して、日々の連携をとることができましたか。	43%	29%	14%	14%	0%	
・生徒は学校生活や学習活動に目的意識や達成感をもって取り組んでいましたか。	42%	58%	0%	0%	0%	
・日常生活に必要なことがらや生活技術を高めるために適切な支援がなされていましたか。	42%	58%	0%	0%	0%	
・ホームページ、学校新聞等により、学校全体の様子を知ることができましたか。	32%	53%	11%	0%	5%	
・保護者懇談の回数や日程は、適切でしたか。	47%	53%	0%	0%	0%	
・保護者懇談では、担任とお子さんの成長や課題・支援の仕方について話し合うことができましたか。	53%	42%	0%	5%	0%	支援の仕方等いくら話し合っても配慮してないと思っています。
・生活習慣、ルール、マナーについて適切に指導、支援が行われていましたか。	37%	58%	0%	5%	0%	ルール・マナーは先生方がしっかり見直すべき。
・教職員の、お子さんや保護者さんへの接し方は適切でしたか。	32%	63%	0%	5%	0%	イレギュラーなことが多く感じました。
・現場実習は充実していましたか。	58%	42%	0%	0%	0%	高等部保護者12名のみ回答
・お便りや懇談等において、進路に関する情報提供がされていましたか。	37%	58%	0%	5%	0%	
・来校者への接遇に配慮がなされていましたか。	47%	47%	5%	0%	0%	対応が遅いし、不適切でした。

先日の高等部のTV出演は、SNSで知ったのでよかったのですが、お知らせの手紙等で知らせてあげてもよかったかな？と思いました。

分掌等	地域の想い	重点目標	手だて	評価指標（成果・取組指標）	評価者	1	2	3	4	5	評価・改善策（教職員自己評価）	４段階評価	評価・意見（学校関係者評価）	４段階評価
小中学部	⑶	**地域の方や友達との交流、地域に出かける取組、地域資源の活用を計画的に行い、子ども達が地域を知ったり、地域の方や友達に子ども達を知ってもらう機会を増やす。**	○学部会ややってみようの日を活用し、各学級や他学部の取組を定期的に情報共有することで取組がより広がっていくようにする。	○地域の方や友達との交流や地域に出かける取組を計画的に実施できたか。	小中学部教員	14%	86%	0%	0%	0%	**○隠岐養太鼓の活動、居住地校交流、校外学習などに目標を意識して取り組むことができた。隠岐養太鼓の取組では、隠岐太鼓の演奏を聴きに行ったり、週に１回（１０～１２月）指導に来ていただいたりした。居住地校交流は、一人一人の実態に合わせた交流内容を工夫して実施した。地域の学校に出かけるだけでなく、来校してもらっての交流や学校見学の受け入れなども行うことができた。校外学習、校外歩行などにおいても地域資源の活用、公共交通機関の利用など、地域に出かけることに意識的に取り組んだ。**	B	○隠岐太鼓の鑑賞から学習、練習、地域に出掛けて演奏する！一貫した取組ができた。 ○太鼓の演奏をするだけでなく、地域との交流や資源の活用をするなどすばらしいと思う。 ○隠岐太鼓の取り組みはとても良かったと思います。養護まつりの発表では、子どもたちが生き生きとしていて、とても感動しました。 ○発表の場があり（子供たちの経験の場）、自信がついたことはとても良いことだと思う。	A
			○ICTも活用しながら、地域の方と一緒に活動したり、それを地域に発信したりする。	○地域の方と一緒に行った活動の成果を地域に発信することができたか。		7%	79%	14%	0%	0%	**○隠岐養護まつりや発表会では、地域の方に指導していただいた隠岐養太鼓を、地域の方々の前で演奏し、活動の成果を発信することができた。これらの取組を通し、子ども達は経験を広げたり、自信をつけたりすることができたと考える。来年度は今年度の取組を活かし、より取組が広がっていくよう意識して計画をしていきたい。**	B		A
高等部	⑶	**生徒が主体的に取り組み、地域貢献が実感できるマルシェの継続に向けた取組を推進する。**	○魅力化コーディネーターと連携して地域の情報収集に努め、生徒に分かりやすく伝える方法を工夫する。	○生徒の地域への関心を高める情報発信が定期的にできたか。	高等部教員	27%	73%	0%	0%	0%	**○学部担当教員と魅力化コーディネーターが主体となって、マルシェの学習進度に合わせた情報提供を行った。 ○動画とポスター掲示を定期的に作成し、全学年で動画を視聴したり、利用頻度の高い通路の掲示板に定位置を決め、ポスターを掲示したりすることで、西町やマルシェについての関心や意欲が高まった。**	B	○私も街歩きをしました。高齢の方も子供連れの家族も、とても楽しそうでした（私も含め）、スタンプラリーナイスです！ ○”毎年”が続くよう願います。年々、マイナーチェンジをしながら地域の方にも、もっと興味を持ってもらう取組を。 ○イベントとして、マルシェは賑わった様ですし、西町の活性化にも、貢献できたと思います。周辺以外の人も出歩く理由ができて喜んでいます。 ○マルシェにぎわっていましたね。継続することに意味があると思います。西町を盛り上げる行事となっている。 ○年を重ねるにつれてよくなってきている。継続し認知度を上げて行って欲しい。今後も期待大です。	A
			○地域貢献への意識を高める学年進行の取組としての総合的な探究の時間の学習内容を明確にする。	○地域理解、地域交流、地域協働を主題とした各学年の総合的な探究の時間の学習内容表を検討・作成できたか。		20%	68%	13%	0%	0%	**○学習内容表の様式を１学期中に検討して決定した。現在は各学年で実施内容について記入中のため、記入後学部で共有し、次年度の計画に生かしたい。**	B		A
総務部	⑵	**PTA、関係機関と連携し、情報発信をすることで、地域との共生社会の実現と障がいのある児童生徒についての理解啓発を図る。**	○共生社会に向かう本校の取組について、ホームページ、学校新聞等や地域の提供の場を活用して情報発信をする。	○各学部、分掌、魅力化コーディネーターと連携し、ホームページの記事掲載や共生社会に向かう取組の紹介について、組織的に取り組むことができたか。	全教職員	11%	84%	4%	0%	0%	**○ICT担当者を中心に、魅力化コーディネーターと連携し、HPの更新を行ってきた。一方で、更新したことを周知できなかったこともあったため、今後は、改善を図り、細やかな情報発信に努めたい。**	B	○HP、学校新聞など時折伺いました。しかし、連携しての活動などもっとPRしたらいいと思います。 ○校内のことを、もっと外へ外へと発信したらいいと思います。 広く発信する情報は、なかなか意図する所へ届かないです。方法を増やしてみては？ ○外部発信がしっかりできていたと思います。SNS効果は大きいですね。 ○地域の人に生徒の事情を知ってもらい、応援してくれる人を増やすことで、安心して生活できる環境ができればよいと思う。情報発信のレベルが毎年上がっているのが素晴らしい。	B
				○地域の提供の場を活用した情報発信について、2ヶ月ごとに更新することができたか。		4%	69%	22%	4%	0%	**○定期的な情報発信が十分でなかった。年間の提示内容を立案し、見通しを持って対応できるようにしたい。掲示した後の校内周知や保護者への周知が不十分であった。掲示したことを周囲へ知らせるよう、徹底したい。**	B		B
教務部	⑶	**各学部の具体策の実現と次年度以降の教育課程の設定に向けて、各学部の地域とのつながりに関わる取組と児童生徒につけたい力との関わりを明確にする。**	○指導計画や担任への聞き取り等により取組の情報を集めてまとめ、児童生徒につけたい力、教科・領域毎の取組、地域とのつながりを関連づけて一覧表を作成する。	○各学部の今年度の取組について、児童生徒につけたい力、教科・領域毎の取組、地域とのつながりを関連づけた一覧表を作成することができたか。	全教職員	15%	81%	0%	0%	4%	**○学級等のグループに分かれて話し合いを行い、児童生徒につけたい力と授業とのつながり、授業と授業のつながりについて一覧表を作成しながら確認した。年間の学習計画を一覧にすることで、教員間での共通理解や見通しをもつこと、児童生徒のニーズや目標の再確認のために役立つという意見が多くあった。１月現在、一覧表「つながりマップ」としてまとめている最中である。２月の指導検討会に間に合うように今年度の取組についてまとめ、来年度の計画に活かせるようにする。**	B	○児童生徒につけたい力と地域につながりの関連づけた「つながりマップ」は簡単な（分かり易い）方が良いと思います。全体のこと→細かい部分など整理ができてシートの作成はいいと思います。 ○すごく良い取り組みだと思います。お手本にしたいです。 ○つながりマップで、それぞれの動きがわかりやすく、次年度に役立てやすくてとてもよい。学校全体が見渡せてよい。	B
研修相談部	⑴	**地域における特別支援教育のセンター的役割の充実に努める。**	〇関係機関に向けた特別支援教育研修会、授業公開を開催する。	〇管内の関係機関に向けた特別支援教育研究会の開催（年３回）、授業公開（年２回）に取り組むことができたか。	全教職員	35%	65%	0%	0%	0%	**○管内の関係機関に向けた研修会、授業公開を計画通りに開催することができた。今後も地域のニーズに対応した研修の企画をしていきたい。 ○教育相談での繋がりから、保育所、小中学校の先生方の来校相談を例年より多く実施することができた。**	A	○研修会を年間4回開催されていた事を知りませんでした。親しみ易い学校である事を皆さんに知ってもらいたいです。 ○数多くの、訪問や巡回相談の対応をされたこと、本当に頭が下がる思いです。 ○旗振り役をして先導している様子が分かります、とても良いと思います。	A
			〇関係機関と連携を取りながら、各町村、各保育所・各学校のニーズに応じた相談活動に取り組む。	〇管内の保・小・中・高の巡回相談等を年2回以上行うことができたか。		35%	65%	0%	0%	0%	**○関係機関と連携を取り、定期の年2回訪問に加え、随時巡回相談に対応することができた。早期支援のニーズが高まってきているので、町村と連携し支援体制のあり方についての検討を継続していく。**	A		A
生徒指導部	⑵	**生徒による主体的な広報活動の取り組みの推進。**	○生徒が、学校行事や執行部・委員会活動に関する広報活動に取り組めるように、時間や場面の設定を行ったり、ICT機器活用のアドバイスを行ったりする。	○生徒が考えた記事を月に１・２回程度ホームページ等で発信することができたか。また、発信できたときには教職員への周知を行うことができたか。	全教職員	8%	84%	4%	4%	0%	**○学期のはじめに記事内容を設定し、生徒自身にどの記事を書きたいか選ばせて広報活動に取り組めるようにした。休憩時間や放課後等の時間設定も行った。 ○月に１・２回程度、多いときには４回生徒が考えた記事をホームページ等で発信することができた。 ○教職員への周知は、行った時と行っていない時があった。担当者が周知を行うようにすると言い忘れがなくなるのではないか。 ○生徒のブログは今年から始めた企画であったが、生徒も担当としての自覚や責任をもち、やり遂げることができたのではないかと考えている。**	B	○生徒さんの思いや考えに添って、HPなどの作成ができたこと”やってみよう”の精神が伝わってきます。先々、子供たちのプラスになる取組みで素晴らしい。 ○生徒さん自身で発信するんですね！慣れてくれば、もっと自由な表現ができるかも。 ○子どもたちが生き生きと活動している様子を見ることができた。一人ひとりの個性を生かしていると感心した。そういう面からも達成できたと思う。	B
進路指導部	⑵	**事業所や企業に学校の広報活動を行う。**	○事業所や企業に学校の広報活動ができるように、各関係機関と協力して学校見学会や企業説明会を開催する。	○事業所や企業向けの学校見学会の内容を工夫して開催することができたか。	全教職員	39%	61%	0%	0%	0%	**○企業への案内の配布を共催の関係機関にも協力してもらった。昨年度よりも多くの企業に参加してもらうことができた。 ○アンケートでは、本校の生徒に興味をもってもらったり、理解を深めてもらったりした内容の感想を多くいただいた。 ○島前の企業も参加できるように検討。**	A	○就職、進学に対して、難しく考える方、事業者の方がほとんどだと思います。しかし、実際に会って話し合ったり、行動を共にすることで、障がいといった考えも少しずつ軽減していくのだろうと思います。是非、続けてください。 ○雇いいれた企業との意見交換があってもよいかと思います。 ○企業説明会等事業所も巻き込み、新たな取り組みの展開ができていた。 ○参加企業が増えたことは隠岐養護への関心の高さもあり、今後は島前の企業の参加も検討して欲しい。	B
				○関係機関と協力して障がい者を対象とした企業説明会を開催することができたか。		50%	50%	0%	0%	0%	**○関係機関と協力しながら開催することができた。 ○新たに実習の受け入れをしてもらえる企業や雇用を検討してもらえる企業があった。 ○企業数を増やすよう検討。**	A		A
事務部	⑶	**施設・設備の適切な保全管理**	○報告のあった破損・危険箇所の対応方針は１週間以内に決定する。	○報告のあった破損・危険箇所の対応方針は１週間以内に決定したか。	全教職員	31%	69%	0%	0%	0%	**○報告のあった破損・危険箇所の対応方針は、１週間以内に決定できたと考えている。 ○家庭科室等の改修など大規模修繕を実現できたほか、温水洗浄便座設置工事等も実施し、昨年度の児童生徒要望に応えることができた。 ○緊急を要するものを除けば、令達予算の範囲内でのやりくりとなるが、児童生徒にとって最大限の益となるように工夫して予算活用をしていきたい。**	B	○日々、忙しい業務の中、危険度箇所の対応が、1週間内に方針決定されたとのこと、学校運営に対する姿勢が見えます。予算の面でも大変な事もあろうかと思いますが、安心安全な教育現場になるよう頑張ってください. ○費用の確保ができれば良いですね.	B